



サロン・タマリバーに参加して

“100円で出来る地域のおつきあい” ホ5・106 塚家

「智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかく人の世は住みにくい。」どこへ越しても住みにくい。「人の世を作ったものは神でもなければ鬼でもない。やはり向う三軒両隣りにちらちらするただの人である。」住みにくい所をどれほどかくつろげて、つかの間の命を、つかの間でも住みよくせねばならぬ。」

以上は、夏目漱石の「草枕」の冒頭の文章ですが、タマリバーの集りは、参加者を童心に帰らせ、ご近所をのどかにし、人の心を豊かにするつかの間の幸せがあると思います。

日常生活のことを気軽に話題にし、隣の方と話し始めれば、話が広がり、そのうち結構晴々とした気分になるものです。

初めて参加する時は、仲間に入れないのではと心配する方もあるかも知れませんが、そういう事はありません。お世話係りの方がプログラムに沿ってリードしてくださるので、隣に座っている方と同じことをしていれば、自然に仲間になっていきます。毎回出れない時は月2回あるので、出られる時に出れば良いし、体調によって遅れたり、早く帰ったりしてもお互いに理解しているので気にしなくてよいのです。男性の多いグループや女性の多いグループ、男女混ざっているグループなど好きな所に行って座ればよいので、どうということはありません。

まだ、一度も出たことのない方はぜひ参加されると、こんな楽しい地域のおつきあいができる会だということが、わかると思います。ぜひ、お出かけになって下さい。